

eHealth Literacy Scale (eHEALS) 日本語版の開発

介護予防マネジメントコース

5009A329-0 光武 誠吾

研究指導教員:岡 浩一朗准教授

背景

健康のために個人がインターネットのような科学技術を活用することは欧米では「eヘルス」と呼ばれ、身体活動量や食生活の改善といった健康行動を増進するためのヘルスプロモーションプログラムにおいて、有効な方法として注目を集めている。しかし、我が国では急速な少子高齢化が進み、中高年の健康増進が課題になっているにも関わらず、eヘルスに関する研究は十分だとは言えない。インターネット利用率は我が国でも7割を超え、eヘルスは益々有効になってくることが考えられるが、個人がインターネット上の健康情報を適切に検索し、その情報を有効に活用する能力を評価する尺度が少ないのが現状である。

目的

本研究の目的は、インターネットのような新しい科学技術を利用して、適切に健康情報を活用するための能力(eヘルスリテラシー)尺度を開発するため、eHealth Literacy Scale(eHEALS)の日本語版を作成し、我が国における妥当性と信頼性を検討することである。

方法

eHEALSの翻訳に際して、原著者からの許可を得てから、翻訳および逆翻訳

作業を行い、8項目からなるeHEALS日本語版を作成した。社会調査会社にモニター登録している3000名(男性1500名、女性1500名)を調査の対象者とした。調査内容は、基本属性(性、年齢、教育歴、世帯収入、婚姻状況)、「相互作用性、批判的ヘルスリテラシー尺度」5項目、「eHEALS日本語版」、「インターネットでの情報検索頻度」、「インターネット上の健康情報に対する認識」2項目、「健康情報サイトにアクセスすることの重要性」、「利用している健康情報の内容」、「利用している信頼のおける健康情報サイト」、「健康情報源について」である。

また、eHEALS日本語版の再テスト信頼性を確認するため、初回調査の2週間後に、初回対象者の中から200名を抽出して再調査を実施した。

結果

対象者の平均年齢は 39.6 ± 10.9 歳であり、教育歴は大学卒が45.0%、既婚者が60.1%、世帯収入は300～500万円未満が28.2%であった。eHEALS日本語版合計得点の平均値は 20.46 ± 5.64 点、中央値(25パーセンタイル-75パーセンタイル)は21.0(17.0-25.0)点であった。

探索的因子分析の結果(下表)、

eHEALS 日本語版は 1 因子構造であることが示された。さらに，構成概念妥当性を検証するため，確証的因子分析によって，誤差相関を設定したモデルで適合度指標はいずれも満足な値を示した (GFI=.980, CFI=.983, RMSEA=.076)。

信頼性について，eHEALS 日本語版の内的整合性は高い値が得られた (α =.93)。初回調査と再調査の eHEALS 日本語版合計得点間の相関係数は.61 と許容範囲の再テスト信頼性が示された。また，eHEALS 日本語版の合計得点は相互作用の，批判的ヘルスリテラシー尺度 5 項目の平均得点と有意な相関 (r =.54) があり，基準関連妥当性が確認された。

また，eHEALS 日本語版合計得点の人口統計学的特性として，40 代，50 代で 20 代に比較して合計得点が有意に高かった。

さらに，e ヘルスリテラシーの程度とインターネット上の健康情報に対する認識を明らかにするため，eHEALS 日

本語版合計得点の中央値で高 e ヘルスリテラシー群 (高 eHL 群) と低 e ヘルスリテラシー群 (低 eHL 群) の 2 群に分け，認識の差を検定した。結果，高 eHL 群ではインターネット上の健康情報を便利で信頼できると感じており，健康情報サイトにアクセスすることを重要だと思っていることがわかった。さらに高 eHL 群の方がインターネット上の健康情報を取得しており，その情報内容も様々であることが明らかになった。

結論

探索的因子分析により，eHEALS 日本語版は，原版と同じく，1 次元構造であることが示され，確証的因子分析により，構成概念妥当性が確認された。また，eHEALS 日本語版は相互作用の，批判的ヘルスリテラシー尺度との相関がみられ，基準関連妥当性も確認された。

信頼性に関しては，内的整合性と再テスト信頼性も高く，尺度としての信頼性も高いことが確認された。

表 eHEALS 日本語版の因子負荷量と α 係数

項目	因子負荷量	項目合計との相関係数
1. どのような健康情報サイトが利用できるか	.791	.757
2. どこに役立つ健康情報サイトがあるか	.793	.762
3. 役立つ健康情報サイトの見つけ方	.807	.760
4. 自分自身の健康状態についての疑問を解決するために，どのようにインターネットを使用すればよいか	.830	.776
5. インターネット上で見つけた健康情報の活用方法	.865	.819
6. インターネット上で見つけた健康情報サイトを評価することができるスキルがある	.736	.726
7. 質の高い健康情報サイトと質の低い健康情報サイトを見分けることができる	.719	.713
8. 健康状態について判断する際に，インターネットからの情報を活用する自信がある	.752	.735

固有値=4.97 累積寄与率%=62.1% Cronbach α =.93